

諸外国の文化財保存修復専門家養成 (②セ06-08-3/5)

目 的

国内で混乱が続くイラクやアフガニスタン、また文化財の保存に対しては発展段階にあるアジア諸国においては、文化財の保存修復専門家が決定的に不足しており、その養成が緊急の課題となっている。

文化遺産国際協力センターでは、アジア諸国での文化財の保存修復を担う保存修復専門家の人材育成のための事業を進めている。研修には、経験豊かな保存修復専門家の関与が必要であり、同時に専門家養成のための基本となる教材や方法を整備し、普及させてゆく必要がある。

本事業では、アジア諸国における文化財保存のための人材養成に貢献することを目的として、文化財保存修復の専門家を育成するための研修の実施と並行して、研修のための資料の作成を行っている。

成 果

本年度は、文化財の保存修復の研修に活用するための教材として、水浸木材の保存修復（現場での取り上げから保存修復まで）に関するテキストと紹介ビデオを作成した。

水浸木材の保存修復用のビデオでは、脆弱な水浸木材の発掘現場での取り上げ方法を紹介し、適切な保存管理、保存修復、展示までの一連の過程について分かりやすく紹介している。また、ビデオで紹介できなかった材料や薬品などについては、テキストに詳しく記載した。テキストとビデオを併せて利用することで、水浸木材の保存修復について概観できるようにところがけた。

このDVDは、日本と同様に湿潤の土壤をもつ東南アジアの遺跡発掘現場での保存修復研修に役立てる予定である。「水浸木材の保存修復」DVDの作成においては、(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所の協力を得た。

- ・『水浸木材の保存修復』DVDビデオ 東京文化財研究所 09.03
- ・『水浸木材の保存修復』テキスト日本語版 東京文化財研究所 09.3
- ・『水浸木材の保存修復』テキスト英語版 東京文化財研究所 09.3

研究組織

○清水真一、朽津信明、宇野朋子、廣野幸（以上、文化遺産国際協力センター）、青木繁夫（サイバー大学）、西尾太加二（財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所）

